

平成31年度事業計画

危険物保安技術協会は、昭和49年発生の瀬戸内海への重油流出事故を契機とした消防法の一部を改正する法律の施行により、市町村長等からの委託等を受けて、石油等の危険物を貯蔵する屋外タンク貯蔵所の安全に係る技術審査等を公正、中立の立場から行う専門的機関として昭和51年に設立されました。

危険物施設における事故発生件数が依然として高い水準で推移していることから、平成31年度は、屋外タンク審査業務に着実に取り組むとともに、危険物施設の安全性向上のための技術援助、保安診断、研修等を充実してまいります。また、新たな業務として、特定屋外貯蔵タンクの水張試験の合理化に関する技術援助や特定屋外貯蔵タンクの浮き屋根の点検に関する技術援助を行うなどにより、引き続き、危険物に関わる事故の防止、安全の確保に貢献してまいります。

一方、国内石油需要の減少など、厳しい経営環境を踏まえ、中長期的な視点に立って、スリムで機能的な組織体制の整備などにより、業務運営の一層の合理化・効率化を図ってまいります。

1 特定屋外タンク貯蔵所等に係る受託審査

消防法の規定による市町村長等の委託に基づく1,000k1以上の特定屋外タンクの審査件数は、前年度予算対比138基減の893基と見込みました。また、準特定屋外タンク(容量が500k1以上1,000k1未満の屋外タンク)の審査件数は、前年度予算対比4基増の30基と見込みました。

審査区分ごとの基数内訳は、以下の表のとおりです。

(単位：基)

区 分		平成31年度 予算(案)	平成30年度 予算	差引増減
特定屋外タンク		893	1,031	△ 138
内 訳	設置審査	20	15	5
	変更審査	655	795	△ 140
	保安審査	218	221	△ 3
準特定屋外タンク		30	26	4
内 訳	設置審査	13	13	0
	変更審査	17	13	4
計		923	1,057	△ 134

2 技術援助

屋外タンク貯蔵所の審査業務等を通じて培ってきた豊富なノウハウを活かし、事業者等の求めに応じて、危険物等の保安対策に係る、次のような専門技術的な課題について、支援を行います。

- (1) 特定屋外貯蔵タンクの開放周期の個別延長に関する技術援助
- (2) 準特定屋外貯蔵タンクに係る基礎・地盤やタンク本体の安全性に関する技術援助
- (3) 特定屋外貯蔵タンクの水張試験の合理化に関する技術援助
- (4) 特定屋外貯蔵タンクの浮き屋根の点検に関する技術援助
- (5) その他、事業者が市町村長等の指導に従って行う安全確保のための措置についての技術援助をはじめ、危険物等の貯蔵、取扱い又は運搬の安全に関する幅広い範囲の技術援助

3 性能評価

消防法令に定める技術上の基準等において明確な判断基準が定められていない又は技術上の基準等と同等以上の性能を有することが必ずしも明確に判断できない危険物関連設備等の性能評価の業務を行います。

(主な業務)

- (1) 石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所に備え付ける大型化学消防車等の評価
- (2) 給油取扱所等での移動タンク貯蔵所からの荷卸しに関し危険物取扱者が単独で荷卸しする仕組みの評価
- (3) ガス系消火設備等の評価
- (4) 強化プラスチック製二重殻タンクの埋設条件を考慮したタンク本体の構造安全性に関する評価（これまで、強化プラスチック製二重殻タンクは型式試験確認を実施してきたが、新たに業務規程を制定し、性能評価として業務を開始する。）
- (5) 縦置き円筒型地下貯蔵タンク及びタンク室等の安全性に関する評価

など

4 試験確認等

危険物等に係る事故の発生を防止するため、危険物の運搬容器や危険物等を取り扱う設備、機器の構造、性能等が所定の技術上の基準に適合しているかどうかについて、事業者の申請に基づき各種の試験を行い、確認(認証)をする業務を行います。この確認(認証)により、消防機関における許可等事務の合理化や使用者等における安全性の容易な確認に資することができます。

(主な設備、機器等)

- (1) 危険物運搬容器
- (2) 少量危険物タンク
- (3) 二重殻タンク
- (4) 固定給油設備及び固定注油設備
- (5) セルフサービス方式の給油取扱所に設置される泡消火設備
- (6) 屋外貯蔵タンクの内部コーティング用塗料
- (7) 防油堤目地部補強材 など

5 危険物施設等の保安に関する診断

危険物施設等を有する事業所では、管轄する消防本部の指導のもと、ソフト及びハードについて様々な保安対策に取り組み、自主保安体制の充実を図り、安全の確保を行っています。

当協会では、これら危険物施設等を保有する各事業所の自主保安に対する取り組みについて、第三者機関として危険物施設又は特定防災施設若しくは自衛防災組織の維持管理等に関して、その実態を調査し、評価・診断することにより、自主保安体制の充実が図られるよう診断業務を行うとともに、企業の危機管理体制を含めた総合的な安全対策の向上として事業所の要望に応じて、診断業務と併せて防災力の向上のための図上演習を行います。

また、診断業務を活用して、火災・爆発等又は危険物等の流出事故が発生した施設の再発防止対策等の安全確認など、各事業所の目的に応じた評価・診断も併せて行います。

6 調査研究

当協会は、長年にわたり培ってきた豊富かつ専門的なノウハウを駆使し、これまで、危険物等の保安の確保・向上に資する各種の調査研究を実施しており、各種の施策への反映、消防機関における保安指導や事業所等における保安業務の指針等に活用されております。

平成31年度は、消防庁と連携しながら、危険物施設の維持管理や事故に関する実態、最新技術の開発状況等を勘案し、危険物施設の長期使用を踏まえた安全対策の検討を引き続き実施してまいります。

さらに、危険物施設は長期使用による老朽化により主要機器の不具合発生頻度が高くなる傾向にあることから、赤外線カメラ、ドローン搭載カメラ等を人の眼に替わる点検手段とすることや、AIやビッグデータを危険予兆、危険回避に活用することなどについて調査研究を実施し、研究成果が実用化に結びつくことを目指します。

7 講習会等の開催

当協会が実施しているセミナー・講習会について、研修内容を充実するとともに、きめ細やかな研修体系の構築を図ります。

(1) 保安技術講習

① 危険物保安技術講習会

(2) 防災管理研修等

① 防災管理者・副防災管理者研修会（出前出張研修も開催）

② 危険物基礎研修（出前出張研修も開催）

③ 危険物施設総合研修訓練

(3) 事故防止セミナー

① 危険物事故事例セミナー

(4) 保安技術専門講習会

① 屋外タンク実務担当者講習会

② 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に関する講習会

③ 屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者講習会

④ コーティング上からタンク底部の板厚を測定する測定者に対する講習会

- ⑤ 単独荷卸しに係る運行管理者等研修会（出前出張研修も開催）
- ⑥ 地下貯蔵タンクの砕石基礎に関する施工管理者研修会（出前出張研修のみで開催）

(5) 保安防災研修

- ① 保安・防災対策に関する出前研修（出前出張研修のみで開催）

平成31年度は、単独荷卸しに係る危険物保安監督者研修をeラーニングで実施する事業者のニーズに応えるため、そのシステム及び研修の実施状況の確認を行う業務を開始します。また、消防庁通知により、「自衛防災組織等の防災要員のための標準的なテキスト」を活用した防災要員に対する研修を年1回以上実施することが望ましく、また、その実施には専門性が求められることから、必要に応じて外部機関の活用を検討することが示されたことを踏まえ、事業所等のニーズに合わせた内容による防災要員研修を、出前出張形式で実施することに取り組めます。

8 情報の収集・提供

以下のとおり、危険物等の情報収集や提供を行います。

- (1) 国内の事故事例の収集・分析を行うとともに、危険物事故事例情報システムとして、インターネット上で危険物に係る事故事例の情報を提供します。
- (2) ホームページを充実し、危険物等の保安技術などに関する幅広い情報を国民等に提供します。
- (3) 危険物施設の安全対策の向上に資するため、わかりやすい映像と解説による危険物安全対策教育用視聴覚教材(DVD)の制作を行います。

9 業務運営の合理化・効率化等

業務運営の一層の合理化・効率化を図るため、職員数減による組織体制のスリム化を図るほか、業務の効率化に資する研修受付システムを整備します。

また、メーカーのサポート終了となるOSを搭載するPCの更新を行います。